

第5回御嶽山噴火に伴う木曾川上域水質保全対策検討会

検討会資料

(牧尾ダム利水放流設備の点検放流について)

平成27年5月28日
(独)水資源機構中部支社

(趣旨)

- ・牧尾ダムでは三尾発電所発電機試験を終え、5月17日から利水補給を開始しており、その補給方法は牧尾ダム取水塔から発電放流管を経て、関西電力の三尾発電所を経由した放流(最大30.9m³/s)を行っている。(別添図①)
- ・但し、発電所機器の故障や送電線障害等により、発電放流管による放流ができない場合への備えとして、利水放流設備からの放流(別添図②)が正常に実施出来ることを定期的に確認しておく必要がある。
- ・このため、利水放流設備の機能確認を目的に、施設管理規程に基づく点検及び整備のための放流(点検放流)を適宜実施したい。なお、放流初期に濁度が上昇することが考えられることから、洪水吐ゲートからの放流による希釈効果が期待できる出水時(概ね100m³/s放流時)において実施する。
- ・点検放流時には、直下流での水質監視を行い、必要に応じ減量又は中止を行う。なお、2月の利水放流設備による試験放流や4～5月の関西電力の発電機性能確認試験結果から、放流初期には一時的に濁度が上昇するもの数時間で低下し、下流への影響は軽微であるものと考えられる。

牧尾ダム放流設備概念図



取水塔



利水放流設備

洪水吐ゲート



三尾放流口

王滝川



各放流設備の位置関係

